

1989	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
2	•	•	•	1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	•	•	•	•

● 毎月15日は川崎市民地震防災デーです。

備える。

準備。予備。整備。装備。守備。警備。
 そなえる…用意する、そろえる、用心する
 防備。常備。完備。不備。具備。兼備。
 そなえ…したく、用意、警戒、防御
 備品。設備。備蓄。備員。備考。備忘。
 そなわる…準備ができる、身に付く
 ……ソナエ アレバ ウレイナシ!!



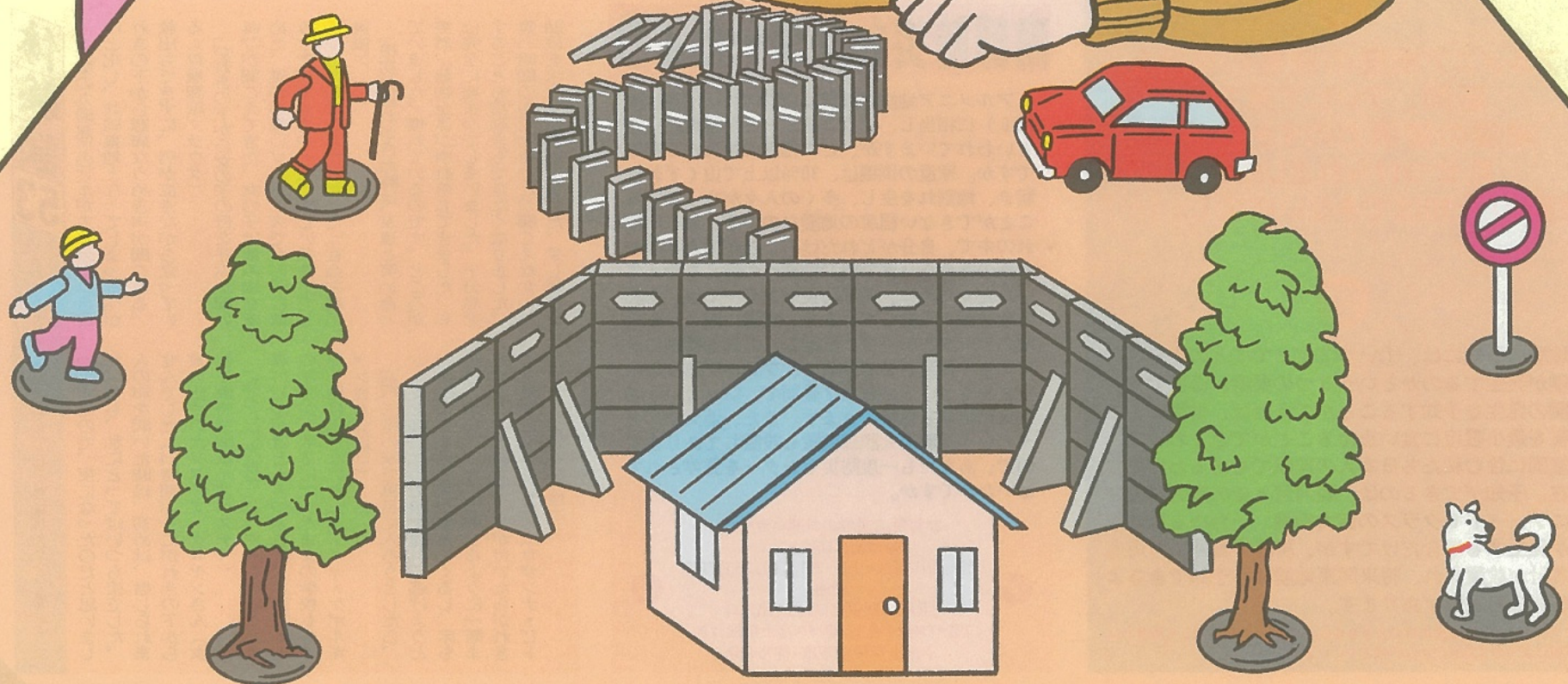
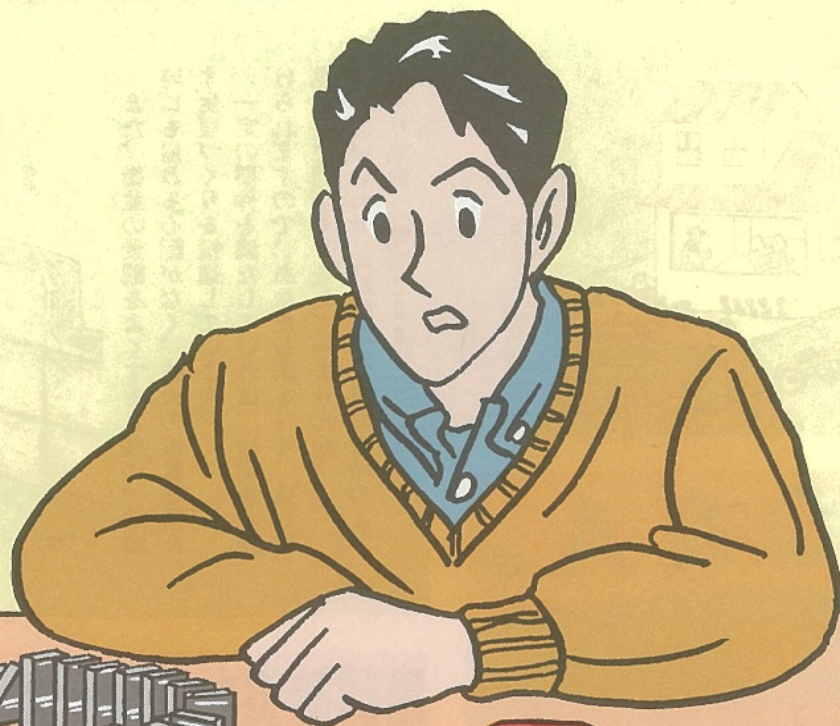
かわさき
 防災広報紙

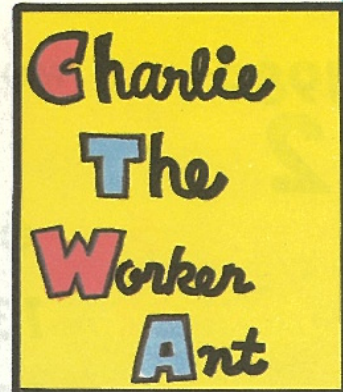
平成元年1月31日発行
 発行●川崎市
 編集●土木局防災対策室
 〒210 川崎市川崎区宮本町1番地
 TEL (044) 200-2111 内線2841

NO.
54

次は、海の向こうの話じゃないかもしれない。

昨年12月にソ連のアルメニア共和国で起きた大地震は、多数の死傷者を出し、街を一瞬にしてがれきと化しました。報道筋によれば、壁材をはじめ構造上の弱点が、被害をいっそう深刻なものにしたと言います。建築基準の厳しい日本では、同規模の地震が発生しても、被害はここまで大きくならないでしょう。しかし今回の地震は、あらためて我が国の安全対策へ警告を発する事件となりました。川崎市では、想定される大地震に備え、さまざまな防災対策をすでに行っていますが、毎月この広報紙で呼びかけているように、いちばん大切なのは、市民の皆さんひとりひとりの防災意識です。いざという時あわてないように、日頃から災害時の対応方法を確認しておきましょう。アルメニア大地震はまず、あなたへの警告だったのです。





防災についていえば、知識は体力にまさる。

大地震を体験した多くの人たちが、日頃の準備や訓練の大切さを口にしています。大地震のとき、あわてず行動できるように、皆さんもご家族と一緒に防災について話し合ってみてください。



わが家の防災会議

- 火の元の安全は？（器具の故障はないか、プロパンガスボンベは固定されているか、消火器の使用方法はわかっているか等）
- わが家で一番安全な場所はどこか？
- ブロック塀・門柱など家の回りの安全は？
- 家具は倒れないか？ 出入口の確保は？（1978年の宮城県沖地震では、負傷者の多くは屋内で負傷しています。家具の落下、転倒、ガラスの破片などが原因です。家具の固定と共に乳幼児や病人・お年寄りがいる部屋は安全にしてあるでしょうか）
- 非常持出品・備蓄品の準備は？（誰が、何を持出すか、また備蓄品も乳幼児・お年寄り等家族構成によって違ってきます）
- 避難する場所、はぐれた場合の家族の連絡先はどこか？（避難場所は必ず下検分をして道順を確認しておきましょう。）

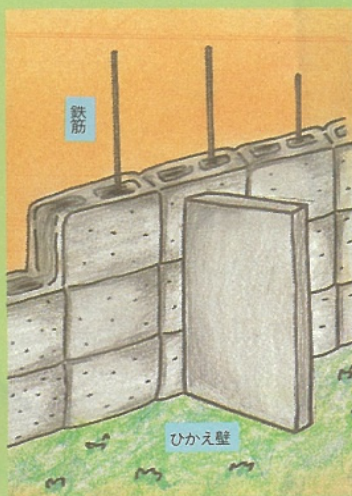
ブロック塀の点検と生垣の推進

1978年の宮城県沖地震や1987年の千葉東方沖地震など過去の地震災害でブロック塀の倒壊による恐ろしい被害が発生しています。あなたがあなたの家のブロック塀は大丈夫でしょうか。

基礎が十分でない、鉄筋が入っていない、ひかえ壁が設けていないなどのブロック塀は、早急に改修する必要があります。

なお、改修については、住宅金融公庫の住宅改良資金が利用できます。

お問い合わせ 建築局指導課（電話2003008）又は区役所建築課へ



また、街並の景観をよくすると共に、地震時にも崩れる心配がなく、防火の役目を果たす生垣づくりを推進しています。

一定の要件を満たしていれば、助成金も受けられますので、あなたも家を守り、美しく見せる生垣づくりをしてみませんか。

お問い合わせ（財団法人）川崎市緑のまちづくり協会（電話200-2380）



防災Q&A 8

アルメニア地震の被害の様を新聞、テレビで見て、地震の破壊力のすさまじさを見せつけられましたが、地震の予知はできないのでしょうか？

問

地震の予知には、①いつ②どこで③どのくらいの地震が発生するののかという3つの要素が必要です。地震の発生を予知することができれば、地震による被害を最小限に食い止めることができるわけで、地震国に住む私たち日本人の悲願でもあるわけです。現在、予知ができるのは、駿河湾とその南方沖でマグニチュード8クラスの巨大地震、いわゆる東海地震が発生する場合だけではなく、房総半島沖にも海底地震計が設置され、将来関東地震等も予知できるようになる可能性があります。

※マグニチュードは地震自体の大きさを表す量で、これに対して震度とは、地震によるある地点のゆれの強さをいいます。

答

南部防災センターだより

アルメニア地震の震度は、日本でいう烈震（震度6）に相当し、マグニチュード7程度だったといわれていますが、どの程度の揺れかご存知ですか。家屋の倒壊は、30%以上で山くずれが起き、地割れを生じ、多くの人々が立っていることができない程度の地震なのです。激しい揺れの中で、自分がどれだけのことができるのか、本物の揺れをハダで感じ地震への備えを考えていただくために、南部防災センターでは、地震体験装置を設置しています。実際に起こった地震のデータをテープに記録し、これを機械にかけて生で再現させる装置で、プレハブ造りのキッチンもセットされた3畳間で、いざという時の火の始末も体験できます。また、消火マスターという模擬消火訓練装置も設置してありますので、あなたも一度防災センターを見学されてはいかがでしょうか。

ご利用、ご見学のお問い合わせは 川崎市南部防災センター 川崎市川崎区小田7-3-1 TEL 355-2175 交通 JR川崎駅中央口14・21出入口 1番バス乗り場、臨港バス富士電機行き、小田小学校前下車 徒歩6分

体験談 53

「新築の九階建てのビルが大部分がけさの山と化し、共同墓地となってしまった」がれきの下から悲痛なうめき声が聞こえる。救出もできずに、男が泣きながら立っている（労働関係紙「アラウダ」） 「がれきの下から女の子の母を呼ぶか細い叫びが聞こえてきた。女の子は飲み物を求めた。誰かが長いゴムホースで女の子に飲み水を飲ませてやった。厳しい条件下でしてやれたのはこれだけだった」（社会主義工業紙） 「最初の揺れがきた時は、友達と笑い合っていました。慣れてくるのです。ところが、突然、建物全体が崩れ落ちてきました。私は完全に埋まってしまいました。十分息をすることも身動きもできなくなりました。真っ暗闇の中で物音ひとつ聞こえなかった。助けを求めて叫び続けました。少し寒くな

「朝、三階の家で風呂に入ろうとしたら、ドーンと揺れたので娘を連れて逃げようとしたのよ。だげと壁が崩れてくるし、床も抜け、エレベーターで降りるようにならないうちに、エレベーターが落ちて、気が付いたらがれきの下敷きになってしまった」（ロザンナ・ピト ジャニヤンさん（女性））

「恐ろしい光景だった。六階も七階もある高いビルがほとんどつぶれて、二百五十人の学生が下敷きになったままの学校もある。早く助け出さないと」（ターニャ・ケボルキヤンさん（女性））

アルメニア地震でがれきの山と化した被災地の惨状を伝える写真集より